

長久手市行政評価票

事業番号	19	事業の名称	地域共生ステーション事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	たつせがある課

事業の概要	地域住民・住民団体・事業者・市職員が気軽に集まり、語り、地域のための様々な取り組みを行うための拠点となる地域共生ステーションを小学校区ごとに整備します。 現在先行して、西小学校区で第1ステーションを整備し、ステーションのソフト事業として、地域の課題を市民自らが解決するためのきっかけとして、地域の市民が考えた地域独自プログラムを市民の手で実施していくことを目指します。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	【瀬戸市】 地域交流センター 運営主体:地域力推進協議会(指定管理者)								
	【高浜市】 ふれあいプラザ 運営主体:まちづくり協議会(指定管理者・管理委託)												
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象(だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	0	0	7,978	5,970		10,398
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	小学校区ごとに地域共生ステーションを整備し、地域組織による運営を通して、地域の課題を地域住民自らが考え地域で取り組むことができるようにする。					国費・県費	0	0	7,978	5,970	10,398		
						地方債							
					その他								
					受益者負担額								

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												H25目標値	H25予算
① 地域共生ステーションづくりワークショップ運営事業	市民					小学校区ごとの地域の状況に応じた地域共生ステーションづくりを主体的に進めることができるようになる。	西小校区部会8回実施 北小校区部会7回実施 その他校区3回実施	ワークショップ参加者数	305	346	340	人	西小校区7回:140人(開設前) 北小校区12回:240人 その他校区3回:60人	H24予算 H25予算 H26予算	0 0 0	(人件費)0 (管理費)0 (施設賃借料)0	D 維持 維持	現在、市職員が主として担っているワークショップの運営を市民等で構成する運営団体に移行する。
		地域共生ステーションについて考え、実践するワークショップを小学校区単位で実施することで	地域の課題を地域住民自らが発掘し解決に取り組む。	実施プログラム数9回	地域の課題解決のためのプログラム実施数	9 10	回	現在、地域で話し合っている地域テーマ(子育て・生きがい・ケア)で地域プログラムを実施予定(月2回実施×5か月)	7,978 10,398	5,970	0 2,973	A 維持 維持	地域住民が主体となって、地域課題を見出し、解決の糸口となる数々のプログラムが提案された。共生ステーションの3つのテーマである子育て、生きがい、ケアごとに部会も立ち上がったため、各部会が相互に連携したプログラムの実施を目指したい。					
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 地域共生ステーションづくりワークショップ運営事業	各小学校区単位で、ワークショップの運営や地域の取組のコーディネートを行う「運営チーム」づくりを行う。			